

1 タイトルについて

(1) 担当分科会 (第4分科会)

- ① タイトル：「子育てママや働く女性のスポーツ機会の充実にに関する例」
- ② サブタイトル： ～ スポーツを支える喜び、伝える喜び ～

(2) 所属、役職名、氏名について

ハッスルはすだ総合型地域スポーツクラブ クラブマネージャー 石井理恵

2 発表原稿

(1) 蓮田市の概要

蓮田市は、埼玉県の東部に位置し東西約4km、南北約15km、総面積27.27平方kmと南北に細長い形をしており、人口は6万3千人を超え、市内には小学校8校、中学校が5校ある。都心からは、わずか40キロメートル、電車で40分と、典型的なベッドタウンだが、元荒川や黒浜沼など豊かな自然に恵まれており、今年、市制施行40周年を迎えた。

市内を流れる元荒川の両岸には、約470本の桜の木が植えられ、JR蓮田駅からも近い市街地に、みごとな桜並木を形成しており、毎年「商工祭さくらまつり」が開催され、夏には、はすだ踊りや、光のパレードなど市民総出での、「市民まつり」が盛大に開催され、秋、特産の「梨」が収穫されて、全国に出荷されている。

また、『国指定史跡』に指定された、今から約6,500年前の貝塚で、関東地方の縄文時代前期の標式遺跡(ひょうしきいせき)・貝塚として著名な、「黒浜貝塚(くろはまかいづか)」がある。

このように、豊かな自然に恵まれていると共に、長い歴史に育まれた有形・無形の文化も豊富で「ふるさと」を感じさせてくれる町である。



(元荒川の桜堤)



市のマスコットキャラ
「はすびい」



(光のパレード)

(2) クラブの設立経緯

当初、体育指導委員であった私は、文部科学省の提唱する総合型地域スポーツクラブ(以下「総合型SC」という。)に興味があったが、市の委員の間では、否定的な意見が大半であった。そんな中、数名の仲間と、平成19年4月「ハッスルはすだ総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会」を結成し、文部科学省委託事業として活動を開始した。

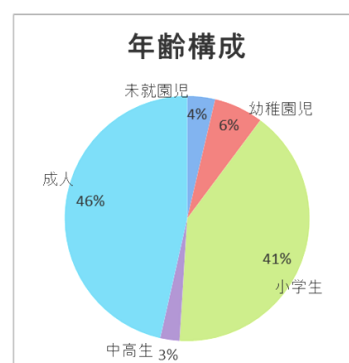
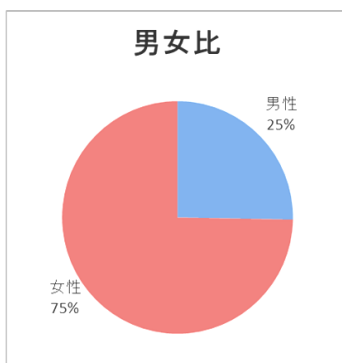
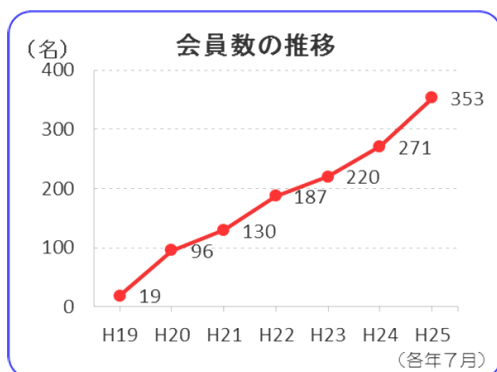
近隣市内では、スポーツ少年団や、体育指導委員が中心となって、設立されはじめていたが、私のクラブは、総合型SC基盤となる組織や団体はなく、まったくゼロからのスタートであった。まず、最近、夏休みのラジオ体操が行われないことから、同年8月小学生を対象にした、はじめての事業『夏休み子ども体操教室』を開催し、これを契機に、11月には定期クラスとして『子ども体操教室』を立ち上げた。

また、知り合いの女性講師に呼びかけ、11月には成人を対象にした、『からだにE～

体操教室』の一環として、ヨガ、エアロビクス、健美操の3つのクラスを立ち上げるとともに、続々と、未就園児を対象にした、『親子体操教室』や、シニアを対象にした、『元気アップクラス』など数々のクラスを開催したことで、20年4月に4教室、21年9教室、22年10教室、23年15教室、24年16教室、25年21教室と定期教室の数を増やしていった。

その結果、ゼロからスタートしたクラブは、7年の活動を経て、現状、会員数350名、年間1千万の会費収入を見込むクラブへと成長した。

また、一般市民を対象にしたイベントや健康体操教室、市内小中学校やPTA関係団体への出前スポーツ教室など、会員のみへの活動にとどまらず、多くの方々のスポーツに親しむきっかけづくりとなるように広く活動を展開した。

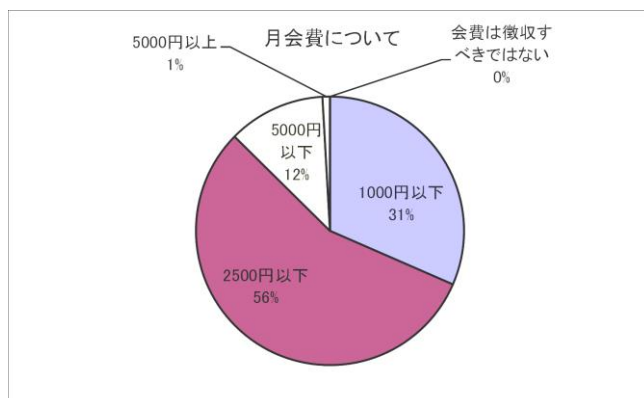


(3) 設立にあたり諸問題（アンケート調査の実施）

設立当初、解決しなければいけない問題は山積していたが、何に手をつけていいのかも分からなかった。そこで、まず5W1Hではないが、「いつ(When)」、「どこで(Where)」、「だれが(Who)」、「なにを(What)」、「なぜ(Why)」、「どのように(How)」という6つの要素を考えながら、整理した。「なぜ」「どのように」については、総合型SC自体の存在意味でもある、「幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する、地域密着型のスポーツクラブ」である。「なにを」のスポーツの種目を何にするかは、まずは、スタッフの得意な種目を選択し、人脈を利用し、その指導者や講師を依頼すれば、「だれが」も自ずと決まった。また、当然、クラブハウスもなければ、施設も所有していないので、「どこで」は、市内の公共施設を借りなければできない。これでほぼ、整理したが、これにないものが、「いくらで」、つまり、会費の価格であった。ここで活用されたのが、アンケート調査で、前述の『夏休み子ども体操教室』や『からだにE～体操教室』の参加者に、教室の後にアンケートを実施した。以下、その一例である。

○会費について

もし、あなたが総合型地域スポーツクラブに加入するとしたら、月どのくらいの会費（保険料除く）が適当だと思いますか。

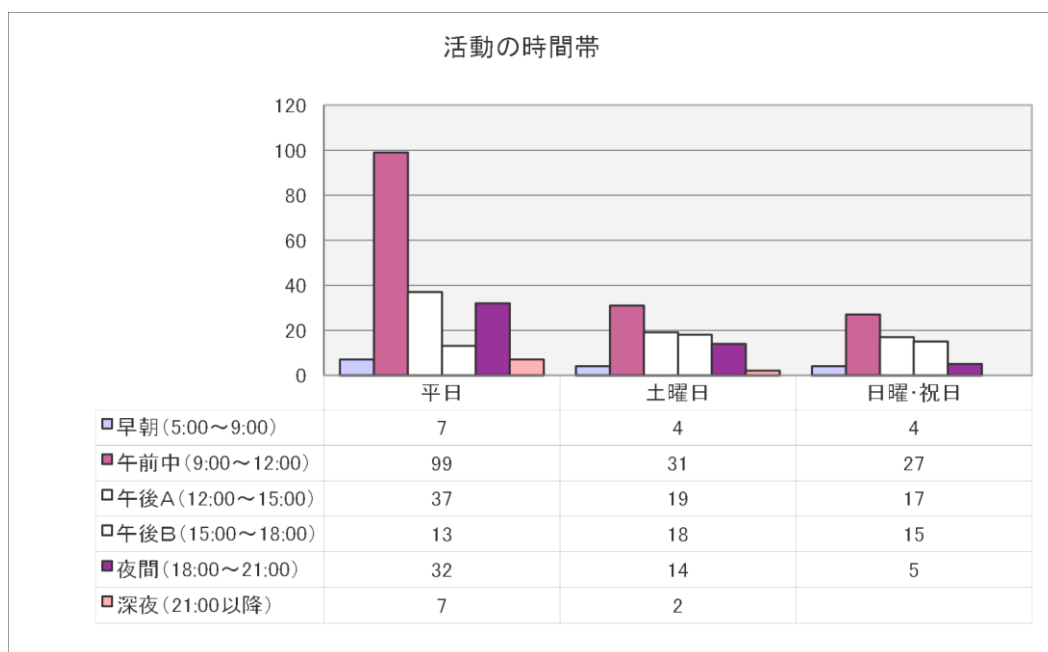


<会費について>

月額金額	名
1,000円以下	70
2,500円以下	124
5,000円以下	26
5,000円以上	2
会費は徴収すべきではない	0
計	222

○活動時間について

あなたは日常生活に運動・スポーツを取り入れるとした場合、どの時間帯が良いですか。当てはまる欄にいくつでも○を入れてください。



(4) クラブの定期教室

アンケート調査の結果を踏まえて、会費を月額2,500円に設定し、主婦の方など女性の活動しやすい午前中の時間帯を中心に、また、働く女性の仕事帰りにも参加できる夜のクラスも設定して、定期教室を実施している。

時間帯	大人クラス	子どもクラス
平日午前中	シェイプエアロ、かんたんエアロ、リフレッシュ体操、ZUMBA	
平日午後A	パワーヨガ、癒しのヨガ、リラックスヨガ、元気アップ体操	
平日午後B	リラックスヨガ	ちびっ子体操、子ども体操、ヒップホップ
平日夜間	ボディサブリ	トランポリン、バック転、ヒップホップ
土曜午前		親子体操
日曜午後		子ども体操、トランポリン

料金面ではいろいろな割引制度を設定し、入会しやすい環境が必要である。そこで、一会員の方が複数のクラスを受講している方への割引制度(複数割引)、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、子どもたちと家族が会員であると割安設定した家族割引など、様々な割引制度の設定とした。会員が受講しているクラスを都合により、お休みしても他クラスに振替が出来る振替制度などは、自分のことだけでなく家族のために多忙な女性がお休みしても安心のサービスである。また、振替制度の副次的効果として、クラス相互間の交流も生まれるなどの効果もあがった。

(5) 年間の活動内容（平成 25 年度事業計画）（※定期教室除く）

ここで、現状クラブにおける、定期教室以外の、様々な地域活動や、イベントについて紹介すると、以下のとおり。

5月：総会

出前スポーツ教室（蓮田南中学校文化祭体験教室）

6月：第4回トランポリン体験教室（県民スポーツの日）

出前スポーツ教室（蓮田南中学校自主家庭教育学級）

8月：第7回夏休み子ども体操教室

10月：埼玉県総合型地域スポーツクラブ「ふあいぶるフェステ」出場

出前スポーツ教室（黒浜西中学校 PTA 教養部）

11月：市商工会「雅楽谷の森フェスティバル」に参加（ヒップホップ）

12月：設立5周年記念式典&発表会

クリスマスイベント

2月：「子育てでつながろう MiNi フェスタ」

子ども体操合同発表会

3月：出前スポーツ教室（蓮田南子ども会）



（出前スポーツ教室：蓮田南中学校自主家庭教育学級）

(6) 女性向けスポーツへの取組み

① 子育てでつながろうMiniフェスタ

なかでも、今年で11回目を迎える市共催のイベント「子育てでつながろうMiniフェスタ」である。このイベントは、「子育て中の一日を楽しく、過ごすなかで、親子でふれあい、友達と遊び、地域の人たちと出会い、様々な体験」が目的である。正に、クラブの設立趣旨にも相通じるものであり、地域密着のクラブを目指して設立準備委員会を立ち上げた、当初第4回目より実行委員として参画している。

現在、21団体が参加し、運営するイベントで、催しものは、以下のとおり。

・ミッションをこなせ ・子ども服をgetしよう！ ・ぼくらのダンボールタウン
・ものづくりとあそび ・おもちゃ病院 ・愛育アニメ上映会など、各団体の特色を生かしてバラエティに富んでいる。

本クラブからは、毎年、いろいろな企画を考えて参加し、前年度は、「ちびっ子サーキット」や、「親子体操」を提供し、好評を博した。



（ソフトとび箱）



（ミニトランポリン）



（ホッピングマット）

事前申込などは不要で参加費無料。市外からの参加も多く毎年600～800名程度の来場がある人気のイベントである。

② 文化活動教室の開催

例年秋に開催している『からだにE～体操教室』では、22年度第4回目より文化活動への教室をはじめている

- ・ハンドベル
- ・フットマッサージ
- ・フラワーアレンジメント、アロマセラピー、フェイシャルマッサージ、ヘッドスパ、アーユルヴェーダー等



(ハンドベル)



(ヘッドスパ)



(フラワーアレンジメント)

(7) クラブ運営を支える女性スタッフ

① 女性スタッフの活躍

以上、主に、女性向けの教室やイベント、などクラブの活動面であるが、これらを支える、スタッフは指導スタッフを含め16名。他に保護者会役員が10名。「チームワーク」の良さがクラブ運営を可能にした。これは当たり前のように、なかなかいろいろな人がいるので難しいのが現状ではないか？スタッフ全員が同じことを実施しても、事業は首尾良く運ばない。しかし、本クラブは一人一人が、各自の役割分担を自ずと認識し、一つの目標に向かって進むのである。例えば、企画する人、準備する人、広報する人、受付する人、司会する人、記録する人、等々スタッフが事業成功に向かって一顧となっているのである。

次に、女性スタッフの力。しなやかさとしたたかさを持ち、かつ他にも仕事を持つ、働く女性たちの「女子力」に注目したい。

② 女性スタッフの1日

ある1日の女性スタッフの多忙な業務を紹介すると、以下のとおり。

○アシスタントマネージャーの場合

受付け業務+経理業務などを兼務しながらの日々

Time	業務内容	メモ
9:00	電話対応、スタッフおよび講師へ連絡	欠席のお知らせと振替連絡
10:00	スタジオ準備、受付業務	体験者2名の対応。体験後入会希望をされたので手続きをした。
12:00	スタジオ片付け、次の会場へ移動	
13:00	会場準備・ヨガマット搬出・搬入、受付業務	今日は振り替え参加も多いし、「秋の体験会」の新聞折込みの影響で申し込み（電話）があるからヨガクラスの参加はやめておいた。
~		
16:00	会場片付け	
18:00	会費自動引き落としのチェック 年会費該当者へ事前連絡	明日謝金の準備をしよう。

○事業部長の場合

日中は、指導者をしながら、夜には、運営委員として企画立案している。

Time	業務内容	メモ
10:00	シェイプエアロ 指導	見学に来た方が入会を希望したがクラスが定員に達しているため空き待ちの予約になった。 元気アップの皆さん本当に元気になったなあ
11:15	かんたんエアロ 指導	
13:30	元気アップ 指導	
17:00 ～ 21:00	事業部会 「からだにE体操教室」の企画 講座内容・指導者確保・場所確保について	飛び込みでレッスンに参加してみて指導者の印象がとてもよかったのでアプローチした。このイベントでクラス新設を目標に今後定期教室の活動への意思も確認したい。謝金含めた交渉をクラブマネージャーに預ける。



(笑顔のおもてなし)



(受付業務)

(8) 今後の展望と課題

スポーツへの関わり方については、「する」スポーツ、「みる」スポーツに加えて、「ささえる」スポーツという考え方が定着しつつあり、多様化の一途である。

また、社会への女性の進出のたかまりや、子育て環境の改善を考えると、クラブの活動を支える女性スタッフの位置づけも重要な存在である、というよりはなくては成り立たない。

笑顔で対応する女性スタッフはクラブでの明るい雰囲気をつくり、優れた指導者が質の高いプログラムを提供することにより、クラブの価値や魅力を高めることである。そんな、明るく、質の高いスタッフ(含む指導者)をどのように集めるのか、その人材はごく身近にあるといえる。

- ・子ども会で一緒に役員を経験したお母さん
- ・指導者講習会での出会い
- ・学生時代の同級生
- ・民間スポーツクラブ社員時代の同僚
- ・クラブの会員さんの中から

大切なのは肩書きではない。身近ゆえに、ともすると埋もれてしまいそうなところに今まで出会った知人の中に、優れた素質を持つ人が必ず居る。

活動をはじめた当初は、基盤もなくもちろんお膳立てもなくクラブを設立できる保障も無い中で誰が偉いとか強いとかしがらみもなく、ゼロからスタートできたことはクラブをつくるプロセスを楽しむにはむしろ最高の環境だったのかもしれない。

「スポーツを支える」という関わり方に喜びを見出す人が増えているように思う。

クラブ活動を続けることで、多くの方々のスポーツを楽しむ場をつくり、その楽しさを伝えることができると信じて歩み続けていきたい。